

企画展

中国の工芸

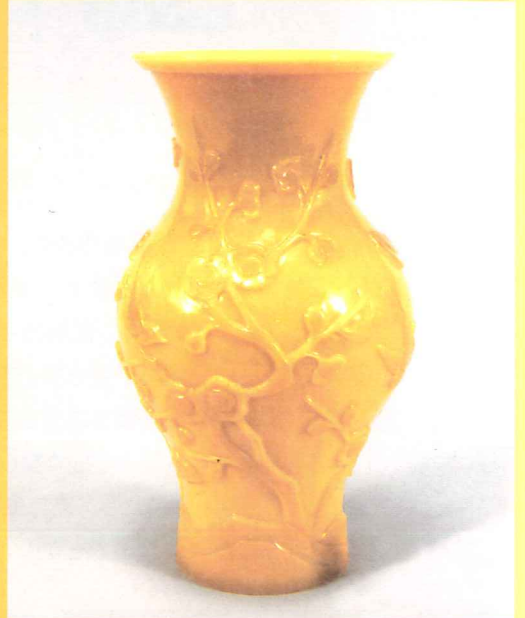
— 陶磁器・七宝・ガラス —



豆彩唐草文鉢



七宝牡丹唐草文瓶



乾隆硝子花鳥文瓶



乾隆硝子花鳥文鉢



乾隆硝子蓮池文水指



乾隆硝子蝶文蓋付鉢

平成23年6月10日(金)
— 8月15日(月)

- 開館時間 9時～17時(入館受付は16時30分まで)
月曜日休館(祝日の場合は翌日休館・8月15日(月)は開館)
- 入館料 一般500円 高校生300円
小中学生無料 友の会会員無料
障害者手帳提示の方・付添者・引率者 無料
団体(20名様以上)、シルバーカード提示の方 2割引
- 後援 山陽新聞社・NHK岡山放送局・RSK山陽放送・
岡山県郷土文化財団
- ガラリートーク 会期中の毎週土曜日14時から学芸員
によるガラリートークを行います。
7月9日(土)はスペシャルガラリートーク。

林原美術館

企画展

中国の工芸

— 陶磁器・七宝・ガラス —

本展覧会では、林原美術館蔵品の中から、中国の陶磁器や七宝類、ガラス工芸品などを展示します。展示の中心は清代の工芸品ですが、その他に古く殷代の青銅器も展示いたします。「青銅器」は人類文明史上、人間が最も早く作った金属器の一つであり、文明史を語る上での重要な工芸品でもあります。以来人々は鉄器や陶器・磁器・玉器など様々な「モノ」を作りだし、そこに装飾を加えて、生活の用にたち、また生活を飾る工芸品として身近に置いてきました。時に道具となり、時に愛玩物でも

あったのです。

今回の展示品中、七宝焼の壺や食籠はひとときわ豪華です。さらにガラス器には繊細な中国の美意識がみてとれます。これらは乾隆帝時代のもと考えられ、その豪華さは清王朝往時の華やかな時代を彷彿とさせます。

今回、初めて公開する作品も多く、華やかな中国工芸の世界をごゆっくりとご鑑賞くださいますれば幸いです。



五彩蓮唐草文小壺



青磁香炉



乾隆硝子樓閣山水人物文鉢



七宝牡丹唐草文食籠



饗養文方瓶

林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15 TEL(086)223-1733 FAX(086)226-3089

<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

*車椅子対応の設備あります。

交通/JR岡山駅から徒歩25分/路面電車[東山行]県庁前下車徒歩7分

岡電バス[岡電高屋行]県庁前下車徒歩3分

宇野バス[瀬戸駅前・四御神行]県庁前下車徒歩3分



次回予告

企画展「飛翔する蝶の紋—戦陣の備え—」
平成23年8月27日(土)~10月23日(日)

本展覧会では、備前池田家に伝来した様々な戦陣の道具をご紹介します。衣装や身の回りの小道具はもちろんのこと、戦いの場では家紋をあらわした幡(はた)が人の目をひく印として大いに用いられました。衣服のみならず、様々な道具として調えられた染織品を広くご紹介します。